

No. 1323

サイパン・テニアン島遺品展

日本の南 200 キロの海上に浮かぶサイパン島。この島は先の太平洋戦の激戦地として有名。今も島のいたるところで、その面影をとどめる日本軍の兵器が見られる。この戦いで日本軍将兵約 4 万人と 1 万人の在留邦人が玉砕し、奥深い山中にはなお数多くの遺骨や遺品が放置されている。これらの遺骨を収集し、5 月 11 日から、名古屋市名鉄百貨店で「烈日サイパン・テニアン島遺品展」が開かれた。展示された遺品は東京の天照山印相寺がこの 10 年間収集したものと、岐阜県の丸山戦没者奉賛会が出品したものの約千点。さびついた銃や剣、めがね、時計、クシなど激戦の跡をしのぼせる遺品に訪れた 5 万人の人々はいくくのように見つめていた。

遺品展は 16 日終了し、閉会后、九遺族に遺品が返えされ、遺族は感無量の様子、みな目をうるませていた。

日 本 完 敗

— 日英親善ラグビー —

日英親善ラグビー最終戦、日本代表対イングランドの試合が 5 月 20 日、東京、国立競技場に 3 万 5 千の観衆を集めて行われました。イングランドは評判どおりの強力 FW を主体とした攻撃で試合開始早々から日本を圧倒します。

イングランドは前半 8 分、スクラムサイドを突いたデービスがうまい攻撃を見せグッジにパス、グッジがそのまま左中間に飛び込んで先制のトライ。そして 28 分には日本のパスミスでグッジがカット、70 メートルを一気に独走して前半ふたつ目のトライ。更にイングランドは 33 分、ハーフライン付近のスクラムから出たボールを TB のカールトンが執ような氏野のタックルを振り切りゴール右すみにトライ。本場英国ラグビーの強さを見せつけます。ラインアウトでは日本ボールをほとんどうばい、堅いモールでつないで余裕ある攻撃を展開するイングランドは 23 対 0 という大差をつけ前半を終了。後半に入ってもイングランドは攻撃の手を緩めずほとんど日本陣内で試合を展開。守勢一方にまわっていた日本も必死に反撃を試みます。そして後半 8 分、イングランドのこぼれ球を拾った松尾がそのままポスト下へトライ、日本初の得点を上げます。イングランドも 16 分日本陣営ゴールライン前のスクラムから出たボールをホンフリーがトライ。まったく日本を寄せつけません。しかし日本も終盤すばらしい攻撃を見せます。まずイングランドゴール 30 メートルのラインアウトからチャンスをつかみ松尾が好走しトライ。つづいて日本は 36 分南川がトライ。更に 39 分にはスクラムから出たボールを FM バックスが一体となって突進再び松尾が飛び込んでトライ。ファンを沸かせます。しかし日本の反撃もここまで結局 38 対 18 の大差でイングランドが最終戦を飾りました。